

良食味えだまめ品種「ちゃげ丸(滝系C8)」の長期継続出荷技術

えだまめ品種「ちゃげ丸(滝系C8)」は、5月上旬から6月中旬まで、45日間程度の範囲で播種期を組み合わせることにより、収穫期を8月中旬から9月中旬までの35日間程度に拡大できる。

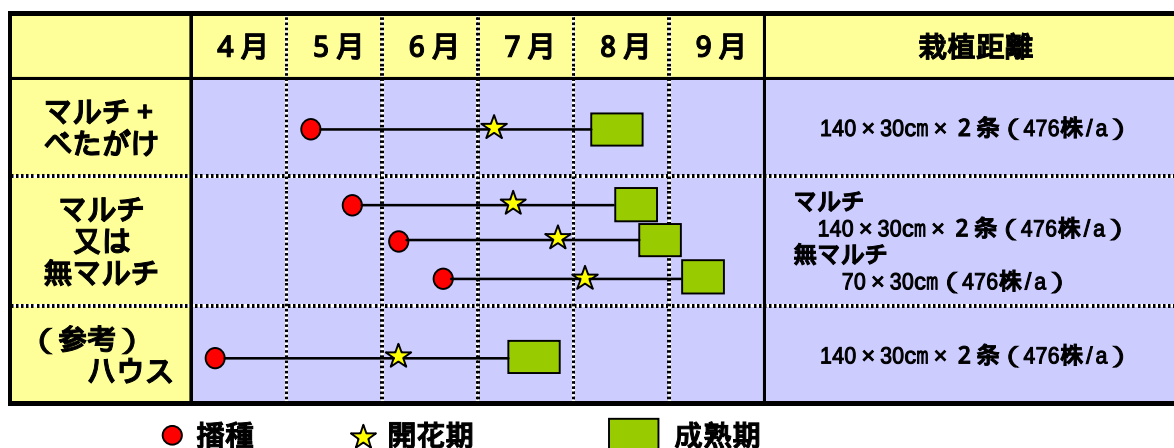
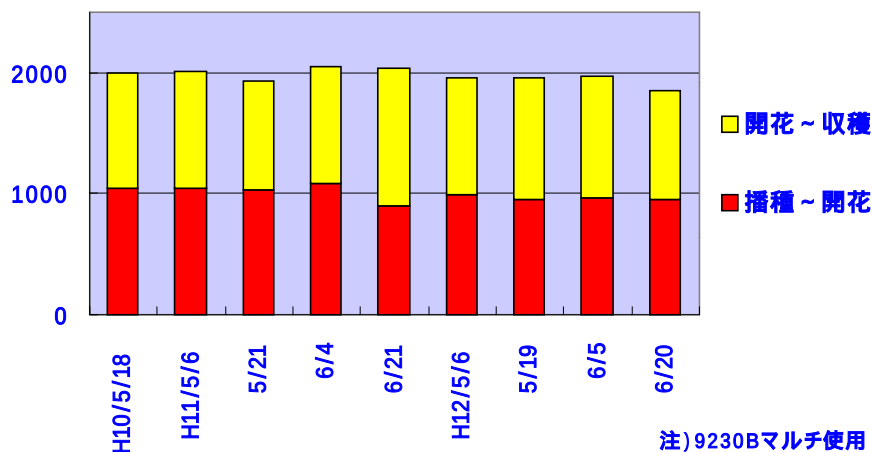


図1 播種期の組み合わせによる「ちゃげ丸」の長期出荷体系

5月上旬の早播きでは、ポリマルチ及び通気性不織布によるべたがけとの組み合わせにより生育促進を図る。べたがけの実施期間は鳥害防止効果も兼ねるので、えだまめの初生葉展開期までとする。また、5月中旬以降の播種でも、ポリマルチの使用により生育量が確保され多収を得ることができる。ポリマルチを使用しない場合、収量は劣るが節間が短くなり、枝つき出荷に適応した草姿となる。



播種から収穫までの積算日平均気温は、播種期を移動しても約 2,000 でほぼ一定となるので、地点別・播種期別の収穫時期の目安とすることができる。

図2 播種日別積算日平均気温